

I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド (NTx)[血清] 検査中止のお知らせ

23-021 (2023 May)

サポートライン
2147

このたび、測定試薬の販売中止により、掲題の検査項目の検査を中止させていただきます。

診療科のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご賢察のほどよろしくお願いいたします。

2023年 8月 1日 以降 検査中止

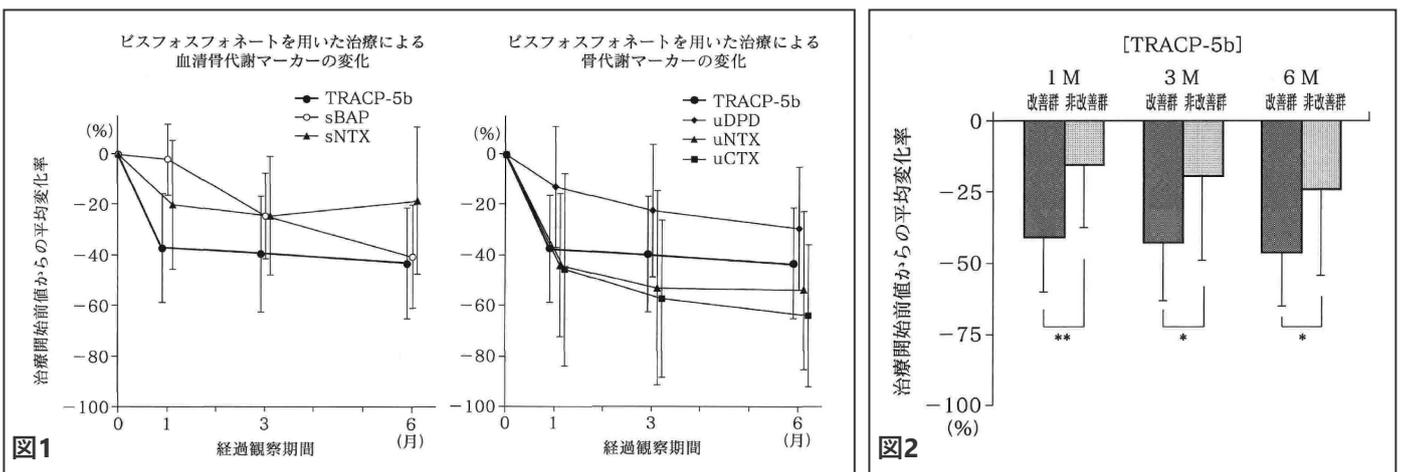
● 検査中止項目 : I型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド (NTx)[血清]

(項目コード : 6429)(年間の出検実績 4件/年)

● 代替検査項目

骨吸収マーカーは rapid bone loserの検出や骨粗鬆症患者の骨折リスク評価・治療時の薬剤選択・治療経過観察に用いられており、デオキシピリジノリン (DPD) やI型コラーゲン架橋-N末端テロペプチド (NTx) が多用されています。また、中止となる項目と同じ血清を使うものとしては、酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ (TRACP-5b) も検査可能で、NTxやDPDとは異なり、腎機能低下の影響を受けにくいマーカーであるといわれています。

ビスフォスフォネート製剤での治療による腰椎骨密度の増加に伴い、TRACP-5bは治療1カ月後より有意に低下したという報告があります(図1)。また、治療6カ月での骨密度の変化率に基づいてresponderとnon-responderに群別すると、両者のTRACP-5bの変化率を比較して有意な差を認めたとはいわれています(図2)。



三木隆己ほか. 新規血中酒石酸抵抗性酸フォスファターゼ 骨型アイソザイム (TRACP-5B) 測定キット オステオリンクス「TRAP-5b」の臨床的検討. 医学と薬学. 2006, 55(3), p. 443-458.

検査部 : 増田 (PHS : 2144) ・ 西山 (PHS : 2141)

京都大学医学部附属病院検査部

<https://clinical-lab.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>

kensa@kuhp.kyoto-u.ac.jp

KU:P



一次サンプル
採取マニュアル